

2015 年度の事業報告書

平成 27 年 1 月 1 日から平成 27 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本芸術家協会

1 事業の成果

今年度の主たる事業活動の成果として、東京都美術館開催の第 38 回 JAG 展が挙げられる。日頃の努力と研鑽の結果を展覧会と言う公的な場所で披露。一般の目・第 3 者の励ましや評価を受けるこの展示期間は貴重である。また一般の参加、公募は広報活動により応募した者、特に現在は SNS 環境が応募に繋がるケースも大事な活動の一つである。基盤として地道に絵画教室やスケッチ、人物画教室などでボランティア活動を続けてくれた会員の熱意と力は大きく頭が下がる思いである。若い世代への声かけはなかなか成果に結びつき難いが。他の団体が会員の維持増加に苦労しているように、JAG も同様、一層の工夫が求められる。点数では少数であるが、工芸・陶芸・彫塑などの出品者も平面の出品者同様に意欲作も見られて、大切な展示の一つとなっている。2 期続いた中学美術部生徒の 2 点立体作品も、その学校全体、先生両親、卒業生の来館を得るまでになり、都美術館に出展したきっかけで、高校から成人に向けて JAG に遡上してくれる事を願う。公募、一般応募はちょっとしたきっかけであり、その糸口を当会は大事にしていきたい。また公募・応募者の範囲は少数ではあるが、九州、中国地方、関西、東海と関東圏の出展の中にも意欲作が見受けられたので、遠方であるがための縛りをできるだけ一般応募の躊躇に繋がらないよう気配りをしていきたい。

公的会場の予約がすべて抽選になり、その環境での継続的な展覧会ギャラリー確保を維持しなければならない。春季 JAG 展と各支部展と小品展のコンセプトは、一般の応募出品がし易い小サイズの展示である。できるだけ敷居を下げて、JAG での活動に結びつく筋道を広く太くする工夫に注力している。今後の全展覧会に向けて切磋琢磨し、地域にも社会貢献していく立ち位置で会を推し進める。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位: 千円)
① 展覧会の開催事業	2015 春季 JAG 展 秋の JAG 展の一般公募に応募される方のファーストステップとして、作品の制作・出品を経験するとともに、会員との交流をはかる	(A) 4 月 21 日-26 日 (B) アートガーデンかわさき (C) 延 75 名	(D) 会員、一般 (E) 87 名	457
	第 38 回 JAG 展 公募展として広く一般より作品を公募し、優秀な作品を展示、賞を与えて、研鑽のきっかけを提供する	(A) 11 月 17 日-24 日 (B) 東京都美術館 (上野) (C) 延 95 名	(D) 会員、公募 (E) 103 名	2,307

②普及活動	人物画勉強会	(A) 1/19, 2/9, 3/9, 4/13 5/18, 6/15, 7/13, 8/10, 9/14, 10/19, 11/16, 12/14 (B) 横浜市民ギャラリーあ ざみ野 (C) 各回 3 名	(D) 会員、一般 (E) 各回毎約 20 名	0
	スケッチ会	(A) 6/11, 8/4, 11/26 (B) 相模原北公園、砦公園、 江の島 (C) 各回 4-6 名	(D) 会員、一般 (E) 各回毎約 25 名	22
	絵画教室 4 教室（絵画ボランテ ィア、水彩画同好会、 絵画芸術を考える、人 物画制作特別企画）	(A) 各教室：金曜日または 火曜日（月 1, 2 回） (B) 青葉区文化センタ、ア ートファースラムあざみ 野 (C) 各回 3 名	(D) 一般 (E) アートファースラム あざみ野 金曜日 10 名 火曜日 10 名 青葉区文化センタ 金曜日 15 名	0
③広報啓発 事業	ホームページに展覧 会開催等の活動スケ ジュールの広報、およ び展覧会展示作品の 写真掲載	(A) 春季展、38 回 JAG 展出 品作品を掲載(上記期日) (B) www. jag-ten. jp (C) 3 名	(D) 会員、公募、一般 (E) 2015-12/31 まで 総アクセス数が 11 万カウントを超え る	502
	JAG ニュース発行	(A) 年 2 回発行 (B) 印刷媒体とネット閲覧 と併用開示の試行中 (C) 2 名	(D) 会員、公募、一般 (E) 印刷物で訴求 各回 500 部発行	